

★5月会費・献金者 献品者★

松木英雄、田中梨奈、小野さゆみ、池賢二、
和田長壽、中村裕子、河手昇、荒木俊博、
山手カトリック教会(福祉委員会)、
日本キリスト教会鶴見教会横浜マックを
支援する会 （敬称略、順不同）

その他匿名の方々に会費、献金、献品を頂きました。
ありがとうございました。

★7月～行事予定★

行事につきましては、新型コロナウイルス感染
対策のため開催未定となっております。

★病院メッセージ★

6月21日（水）聖明病院

所属	新規 利用者	継続 利用者	合計	利用者合計			
				男性	女性		合計
病院	神奈川病院	0	2	2			
	久里浜医療センター	0	2	2	16	7	23
	精神医療センター	0	1	1	利用者年齢別内訳		
	大石クリニック	0	2	2	10代	20代	30代
	聖マリアンナ川崎	0	0	0	0	0	6
	北条クリニック	0	1	1	50代	60代	70代
施設	まゆの家	0	3	3	9	4	1
	いしずえ	0	5	5	修了者内訳		
	GHけやき	0	1	1	就労	AA	その他
	GHわおん	0	1	1	0	0	1
	福祉保健センター	0	5	5	中途退所者内訳		
	ネット	0	0	0	就労	AA	その他
知人	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0				
合計	0	23	23				



会員募集のお知らせ

日頃の横浜マックを応援していただき厚く御礼申し上げます。また、毎月のニュースレターもお読みいただきありがとうございます。毎号、マック利用者からのメッセージをお届けしていますが、誌面を通して多くの方に自分たちの気持ちを知っていただくことは大きな励みになっております。

今月は郵便振替用紙を同封させていただきました。毎年、会員、賛助会員の方々から年会費をご送金いただいております。また多くの支援者の方々からはご寄付も献金もいただいております。皆様方からの支援金は横浜マックにとって大きな収入であり、毎日の事業運営及び依存症の啓発活動の資金として大切に活用させていただいております。改めて御礼申し上げます。

ご寄付いただく時期は一人一人のご都合によると思いますが、私どもでは勝手ながら初夏と年末の2回、振替用紙を同封させていただいております。もちろん時期はいつでも構いませんので、ご支援いただける際には同封用紙にてよろしく願いいたします。

正会員	年額一口	12,000円（分割納入可）
法人会員	年額一口	50,000円（分割納入可）
賛助会員	年額一口	1,000円（3口以上でお願いします）

献金も随時受け付けております

郵便局 00240-6-62177 特定非営利活動法人横浜マック
横浜銀行鶴ヶ峯支店 普通 1634881 特定非営利活動法人横浜マック 理事長 宮永 耕

SSKW NPO 法人

横浜マックニュースレター

2021.6.18

横浜マックは、アルコール・薬物依存症者の回復と社会参加を支援します。

横浜マックのいろいろな話題はネットで「横浜マック」で検索してね。

2021年度通常総会を終えて

理事長 宮永 耕

昨年より続く新型コロナウイルス感染拡大の中で、今日まで横浜マックは集団感染等の問題を起こすことなく回復を支援する活動を継続することができています。これには、いつにもまして関係諸機関をはじめ多くの方々からご支援いただいていたことをふまつつも、何よりも現場で業務に従事するスタッフの細部にまで及ぶ日常の配慮と連携による緊張感を保った利用者ケアによるところが大きいと感じています。およそ全世界が未経験の感染症への対応に試行錯誤し、時として混乱さえする中で、あふれる情報を的確に整理して過不足なく対処しながら業務の継続に集中し、必要とされるサービスを中断せず回復の場を提供し続ける役割を果たしていくことを、今後も目標にしていく所存です。

さて、先日5月15日には、感染拡大防止対策を十分検討したうえで今年度の通常総会を開催し、準備したすべての議案を審議し承認を得て、無事終了いたしました。今回は役員改選期にもあたり、退任役員及びその補充となる新任候補の推薦もあり、議案に新役員名簿を提案し承認されたため、新たな理事及び監事による法人体制がスタートしました。総会後の臨時理事会における役員互選により、今期宮永が理事長に再任されました。定款に基づき同時に選任された専務理事と任命された事務局長及び7名の理事による新役員体制で法人の運営にあたりますので、ご支援をよろしく願いいたします。

20年度事業報告の中で、昨年度は当初からのコロナ禍の状況下で、例年通りの活動が困難になった部分も多かったことを振り返りました。総会前後の初夏の野外プログラムとして定着し多くの卒業生たちも参加するバーベキュー会や利用者にとって最大の所外行事ともいえる男女別の宇佐美夏季合宿、秋以降の合同のスポーツ大会やクリスマス会、OBOGも例年多数参加していた年末の餅つき会と鍋を囲んでの新年会、冬季の温泉施設への日帰りバスハイクなど、それらほぼすべてが中止を余儀なくされ、緊急事態宣言下では外部からのゲストやボランティア等の受け入れも停止しました。医療機関へのマックメッセージも制限され、活動PRと支援者の募集を目的とした学習会の開催は中断しています。

スタッフは、俳句会の継続や新たにクイズ大会を毎月開催するなどデイケア内で実施できるプログラムを工夫し、単調な毎日が意欲低下につながらないように利用者を励ましてきました。現在も緊急事態宣言は継続するため、昨年来の経験分の心理的余裕はあるものの、クラスター予防には細心の注意が常に求められ、感染防止対策は最優先事項です。そのような状況でも新しい利用者を迎え入れ、飲酒のない生き方の分かち合いを重ね、さらにプログラムを終了して次のステップに進む仲間たちを地域に送り出す横浜マックの日々は続いていきます。

理事会任期の2年間を見渡して事業のビジョンを示すべき時点に立ち、新型コロナ問題の行方だけに任せることなく、改めて私たちの課題を確認しています。前期には利用者数の変動がもたらす給付費収入の減少が、いかに施設事業の先行きを閉ざしかねないか経験し、議論を重ね試行錯誤することからも多くを学びました。職員の入退職事例からは人材の募集・選考方法のみならず、定着の支援や役割分担のあり方、キャリアパスという視点からの現状分析と見直し、そして近未来の事業を想定した施設全体での経験やスキルの継承とそのための方針の必要性を理解しました。

1984年横浜でも開始されたマックの事業は既に37年を超え、その後開始された各地のマック等と合わせて、現在全国各地でアルコールや薬物依存者の回復支援に取りくんでいますが、その事業を行う地域のニーズなどとの関連もあり、運営の形態もアプローチも多様かつ不断にアップデートされ続けています。90年代後半から普及してきた「アディクション」という視点も、時間の経過とともに経験してきた多義的な要素を取り込んで変容しました。アルコール健康障害対策基本法（2013）に続いて制定されたギャンブル等依存症対策基本法（2018）では「依存症対策」として一括されるに至り、社会的課題としてのとらえ方も変えられ、マックが行う支援への外部の要求や内容も少なからず変化してきました。

そのこと自体の可否や是非は別の課題としても、私たち横浜マックが主体的に、どのような人々に対し、どのような方法でサービス提供を行い、どのように優先順位をつけるのか、その理由も整理して示し共有することが何より大切でしょう。先人たちによるこれまでの足跡を振り返りつつ、それにのみ縛られることなく、他者の意見に幅広く耳を傾けつつも、それらに全面的に委ねることはしない自らの価値観に基づいたサービスを継続し、絶えず必要な人々へと周知し、未来の担い手へとその役割を手渡していくこと、…このように表現すると理想論、抽象論あるいは「永遠の課題」として等閑視されがちですが、横浜マックがNPOであることの使命はそこにこそあるはずです。そのために「今日一日」をどのように重ねていくのか、新たなスタート地点で問われていることを感じています。

わたしと横浜マック

わたしの横浜マック通所は、2回目の入院中からでした。今から9年前です。

家で飲むようになったのは、子供二人を保育園に預けながら忙しく自営の仕事をしていた毎日。夜、お疲れ様のビール1本飲んで、また明日も頑張ろう！将来への夢や希望がありました。それから数年後、子供達の成長と共にいろんな問題が出て来ました。親族のトラブル、実父の死などを理由に飲み続け、どんどん量が増え、入院になりました。

横浜マック通所が始まり、毎日同じ時間に起きて三食食べて、規則正しい生活をして、行事では、自然の中でバーベキュー、ゆっくりビデオ鑑賞、温泉と美味しい食事の1泊研修。お酒が無くても仲間と楽しむ事を体験しました。

すると、このまま飲まずにいたい、飲まずにいられたらと思うようになりました。そんなとき、毎月司会に来て下さるAAメンバーが、「以前と同じだったらまた飲むことになる。自分を変えていくためにAAの12ステップがある」と言っていたのを聞き、そうだ、本当にこのまま家庭に戻ったら同じことになると思ってきました。

それからホームグループを決め、スポンサーをお願いして、ステップ4・5に臨みました。横浜マックで最後に参加した行事が誕生日会で、自分を大切に生きていくことを感じさせていただきました。

終了してからAAのバースデーミーティングで、当時マックの2階の部屋で過去どうだったかの話をして毎日していた同期の仲間から、「今、人間関係が回復していて嬉しい」と聞いたとき、本当に良かった！と感動して涙が出て来ました。そして心の底から相手の幸せを願っている自分にも感動してウルウル(涙)しました。今も月に一度司会に行き、同じように2階のあの部屋で新しい仲間達と正直な分かち合いをする機会をいただいています。今後またAAでお互いに成長している姿を感動し合いたいと思っています。

入院中から横浜マック通所を支えてくださりお世話になった看護師さんから「回復者ではなく、いつまでも回復を目指す者として行動して行くように」と退院するときに言われたことを忘れずにいたいと思っています。

わたしと横浜マック通所は、大きな力と仲間の助けを借りて生き方の方向を変えていく出発点です。マックで学んだことを土台に、これからも仲間と共に飲まない幸せを感じていきたいと思っています。



OG・Sさん

お気楽の会 5月の俳句

兼題 「空」 または自由

											準特	特選	
大空に翳す聖火の夏めく日	からからの喉に滲みゆくソーダ水	空振りの4番バッテリー五月晴れ	網戸からぬるい風入る湿り雨	青と白色を別け合う夏の空	初夏の空の青さに鼻歌う	葉桜の枝の先満天の星	空色の肩たたき券母の日に	五月雨や空見上げればむなしくて	梅雨空にエアードで送る恋心	夏空や自衛隊機の五輪の輪	燕の子戻って来いと夏の空	漆黒の空に弾ける彩花火	子等とばす紙飛行機の空五月
緑	み	俊	た	一	海	き	乃	社	イ	益	ラ	空	なん
青	み	貴	坊		斗	ん	無	務	サ	田	オ	知	ん